

佐怒賀直美 * 選

一般の部「自由に四季を詠んだ作品」 ◎入選

仔牛眠る豊かな寝藁大晦

コロッケのよく売れ子等の夏期講座

白鳥の報せ盤面そのままに

名前のみ刻む弟秋の雲

浅き春母の鍬音背にやさし

月読のひかり治し敗荷

自己新の背面跳びや冬の虹

それぞれにそれぞれの風草の花

炎天や鯉跳ねて森驚かす

もやかかるモノクロの村春灯

いち早く挽がれて窓に青りんご

春は来ぬ売られゆく牛の地団駄

雪原を駆けてなほ濃き青毛かな

夕鐘よ向日葵畑の風に乗れ

潜り込む子犬の尻尾露の原

さうさうと山鳴る夜の牡丹鍋

うねり来る風は光に夕芒

国境の宮の算額稻田風

枯れ藤に蛇身隠るる闇の闇

藤房や智恵子の空に色溶かす

一般の部「白河を詠んだ作品」 ◎入選

投網打つ那須岳ひとつ捕る如く

茅葺きは道安好み初しぐれ

半夏雨街中蔵の藍暖簾

埼玉県さいたま市 増 田 信 雄

東京都江戸川区 羽 住 博 之

長野県茅野市 伊 藤 正 規

会津若松市 身 不 知

石川町 添 田 元 一

桑折町 大 田 直 矢吹町

白河市 久 保 田 み 級

白河市 小 川 コ ヴ

白河市 柏 木 康 男

白河市 田 村 玲 子

白河市 田 村 玲 子

白河市 大 平 茂 勝

白河市 遠 藤 琳 奈

白河市 高 橋 淳 子

東京都文京区 遠 藤 琳 奈

郡山市 岩 村 勝

郡山市 岩 村 勝

須賀川市 伊 豆 周 治

竿石の空蝉ひとつ今し落つ

弁慶の下馬碑筆太雲の峰

関山の尾根に人見る暁日和

門火焚く白河口のいくさ跡

関山と空映る田に鷺一羽

義士祭の蕎麦を振る舞う寺男

南湖澄む鳩の浮巢に雛三羽

鷹鳩と化し白河の関越える

秋日射す手斧目しるき前御門

流れ星すと入りたる南湖かな

吉次の碑あらん限りのつづれさせ

雨やんで白河関墓のそり

小峰城春の光に前御門

稻妻や鹿島神社の獅子が翔ぶ

山の端に朝陽南湖の水面鏡

ふと過ぎて庄司戻しの桜かな

関杉を登りきりたり藤の花

海外の部 ◎入選

会津坂下町 佐 藤 道 博

会津坂上町 佐 藤 道 博

白河市 吉 原 瑞 雲

白河市 大 平 茂 勝

白雲を湖面に崩す秋の風

日本人の名の付く街路桜咲く

キリスト像世界を包む朝の霧

サビア鳴く国に移民の余生かな

移民の日無縁仏に紫煙立ち

伯 ミナスジエーライス州
バーヴアルジエニヤ市

伯 サンバウロ州サンバウロ市

伯 サンバウロ州サンバウロ市